

深川東京

fukagawa tokyo modankan news

モダン館だより

共催

モダン講談会

7月9日(土) 14時半～(開場 14時)



講談界の貴公子登場!

※6月28日(火) 10時から電話で受付予約

定員: 50名(要予約) 全席自由席

予約・当日とも 一般: 3,000円 小～高校生: 1500円

後援: 一般社団法人日本講談普及協会・日本講談協会

神田 莉々子
神田 陽菜
神田 桜子
神田 陽子

—仲入り—

神田 紅純
神田 紫
一龍斎 貞橘



7月のカレンダー 催し物の詳細は2面をご覧ください

月	火	水	木	金	土	日
				1 	2 	3
4 休館日	5	6	7 	8	9 講談会	10
11 休館日	12	13	14 キッチン 松ぼっくり 営業日	15	16	17
18 	19 休館日	20	21	22	23 ふかにこ ファクトリー	24
25 休館日	26 嘶+話	27	28	29 おきがる講座	30 おきがる講座	31 圓橘の会

開館時間 10:00-18:00 (金・土曜日は19:00まで)

7月の催し

共催

ふかふかに ファクトリー

0歳からOK!

7月23日(土) ①11:00~12:00 ②13:00~14:00

リトミック要素を取り入れたミニコンサートと
親子で一緒に楽しめる簡単な作品を作ります

大人 700円 子ども 300円
大人子ども合わせて各回18人
歌&読み手 YUKKIY(ユッキー)
イラスト Reap(リープ) ほか

※6月28日(火) 10時から受付開始



給食の懐かしい味!

キッチン松ぼっくり

7月14日(木) 11:45~14:00

夏野菜のタコライス

卵スープ

デザート(ピーチポート)



700円

揚げパンは1個50円

※完売次第、閉店いたします ※ご予約はできません
※メニューを一部変更する場合があります



共催

噺 + 話

7月26日(火) 14:00~ (開場13:30)

三遊亭歌扇「鰻の幫間」

+ 龍澤潤「演題にちなんだ話」



おきがる講座と
落語会モダン亭のコラボ

予約・当日 1,500円
定員 20名

※7月5日(火) 10時から受付開始

主催

江東区の歴史をまなぶ

おきがる講座

7月29日(金)・30日(土) 13:00~14:30
渋沢栄一ゆかりの事業4「製糖業」

7月29日(金)・30日(土) 15:00~16:30
渋沢栄一ゆかりの人々9「古河市兵衛」

受講料 500円 定員 各回20名(要予約)
講師 龍澤潤(深川東京モダン館)

※7月5日(火) 10時から電話で受付予約

共催

圓橘の会

7月31日(日) 15:00~ (開場14:30)

三遊亭圓橘

ももかわ よしずみまんぞう
「百川」「吉住万蔵」

予約 2,500円 当日 2,800円
定員 50名

※7月5日(火)
10時から受付開始



※当館の催し物のご予約は 10時から お電話 03-5639-1776 まで

●お客様へのお願い

- ・次に該当するお客様のご来場は、ご遠慮いただきますようお願いいたします。
37.5度以上の発熱があるお客様 咳、喉の痛み等の症状があるお客様
過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴があるお客様
- ・マスクを着用でないお客様のご入場はご遠慮いただきます。咳エチケットにご協力をお願いいたします。
- ・手洗いと手指消毒にご協力をお願いいたします。
- ・催し物にご参加されるお客様には、氏名・連絡先等を確認させていただく場合がございます。

因速寺と促成栽培



この度文化財で「因速寺と促成栽培」の説明をさせていただく機会がありましたので、それについて書かせていただきます。

因速寺は江戸幕府成立の20年後の1623年に創建された浄土真宗大谷派の寺院。最初は江戸京橋あたりにありましたが、何度か移転し、一時期は黒江町（現在の永代）万徳院となりました。これは「本所深川絵図」でみなさんもよくご存知のことと思います。

その後震災で焼失し、昭和2年に現在の東砂に移転しました。

本尊は木造阿弥陀如来で鎌倉期に制作され、江東区で一番古い仏像とのこと。江東区の指定文化財になっています。

残念ながらこのお寺、境内への拝観ができないのですが、「めぐみの喧嘩」のモデルとなった四ツ車大八や砂村で忘れてはならない人物、松本久四郎の墓があります。

松本久四郎は中田新田、現在の東砂6丁目あたりにいた篤農家で、なんと寛文年間(1661～1673)に野菜の促成栽培を広めた人なのです。現在のビニールハウス栽培が江戸初期に始まっていたというのは驚きです！！

江戸っ子はもとより初物好き。誰よりも早く初物を食べるという贅沢は江戸っ子の間で大流行。

久四郎は本来夏に収穫されるナス、きゅうり、いんげんを旧暦3月に出荷したのです。それらは将軍家にも献上され、大いにおほめに預かったとのこと。

そのおかげで促成栽培は大人気。一時は江戸で消費する野菜の7割が砂村産と言われていました。特になすは高嶺の花で、中でも砂村丸茄子は珍味として料亭に供されていました。

料亭「八百善」では客からの「見たこともない贅沢な茶漬けを」という注文に対して冬に1膳1両2分(約15万円)もする品を出したとも言われています。

あまりのエスカレートぶりに幕府も貞享年間(1684～1688)以降、「はやだし禁止令」をしばしば出しており、綱吉は野菜の「早つみとり解

禁日」を設定し、しょうが3月、たけのこ4月、なす5月などと規制しています。

もともと砂村は中川沿いの肥沃な湿地帯で灌漑の便も良く、野菜の栽培に適していました。また水運を利用できる利便性もありました。

そこで久四郎は江戸で出る「江戸ゴミ」と言われる魚河岸で出る魚のアラや切り落としを運び肥料として利用することを思いつきました。

それに水をかけると熱が出て発酵する。それを温床(床場)としてそこで苗を育て、そこをタコと呼ばれる油紙で覆い、炭火なども利用して温室を作り、苗を育てていく。まわりは葦で囲い風を防ぐようにし、そこには滑車やロープをつけて上げ下げできるようにも工夫されていました。

この方法は昭和20年代でも見られていたようです。

その後、砂村は宅地開発、工場進出にともない、農地は消えていってしまうのですが。

ちなみに仙台堀川(東京運河)にかかっていた松本橋は七代目松本久四郎が架橋したものです。

まさに松本久四郎はリサイクルと自然エネルギーを利用したエコの代表者といえるでしょう。

江戸の人々のリサイクルの徹底と工夫には頭がさがる思いです。



(文と写真 江東区文化観光ガイド 川窪陽子)

深川東京モダン館では江東区文化観光ガイドによる館内のご案内(10時～16時)およびご希望によりモダン館周辺のまちあるきツアー(1時間程度、11時・14時出発)を行っています。※新型コロナウイルス感染状況によって中止になる場合があります。※諸事情によりガイド不在の場合もあります。

貸会議室・多目的スペース

深川東京モダン館では2階の多目的スペースと会議室をお貸し出ししています。ミーティングやイベントを行うスペースなどにご利用ください。

◆会議室 (20㎡)

利用日時：開館日時 利用例：社内ミーティング、商談、お花・書道・語学の教室等

◆多目的スペース (80㎡)

利用日時：開館日時 利用例：展示、イベント、社内研修、演劇の公演、講演会、教室等



多目的スペース



会議室

※料金、ご予約（ご利用日の半年前から受付）詳細については、お電話またはメールにてお問い合わせ下さい。

※スクリーン、プロジェクター、マイクなど機器類もご利用いただけますので、ご相談ください。

ガイドブック・お土産品

深川東京モダン館1階では、まちあるきに役立つガイドブックや江東区の文化財ガイドなどを販売しています。

- ・『江東区の文化財』各地域
- ・江東区観光キャラクター
コトミちゃんグッズ各種
(タオルハンカチ ステンレスボトル等)
- ・江東区の名所を描いた絵はがき
(水彩・切絵・写真)
- ・もくレース
- ・深川めしの素
- ・ちくま味噌 甘酒
- ・はちみつ
- ・ゲイシャコーヒー
- ・Tシャツ 等

大江戸あまさけ
(ちくま味噌)
1個 300円



冷たいあまさけ！
夏の栄養ドリンク

百圓珈琲

1F カウンターでは 100 円のコーヒーをご提供しております。

ホットコーヒー「小樽」「ベイキャメル」「モダン館ブレンド」(しつかり・すっきり)、そして季節限定の「冷やし」の5種類をご用意しております。

まちあるきの休憩時や会社のお昼休み中の一服にどうぞ。



開館日および開館時間

10:00-18:00 (金・土曜日は19:00まで)

休館日：月曜日

(月曜日が祝日の場合、翌火曜日が休館となります)



「深川東京モダン館だより」第111号(2022年6月17日)

発行 (一社)江東区観光協会 深川東京モダン館

〒135-0048 東京都江東区門前仲町1-19-15

TEL 03-5639-1776 FAX 03-5620-1632

Mail info@fukagawatokyo.com

ホームページ www.fukagawatokyo.com

